

情報公開文書

2026 年 6 月 ver. 1

研究課題名	膵頭十二指腸切除術における術前 3D 血管再構築の有効性を検討する後ろ向き観察研究
研究の意義・目的	膵頭十二指腸切除術（pancreatoduodenectomy：PD）は依然として高度な技術を要する手術であり、術中出血や血管損傷などの重篤な合併症を伴う可能性が高いとされています。近年、画像処理技術の進歩により、術前 CT 画像から患者固有の血管解剖を三次元的に可視化することが可能となり、膵臓外科領域においても術前 3D 画像構築は手術シミュレーションや術前計画立案に広く利用されていますが、どのような血管走行パターンが高い術中リスクを有するのかについては十分な検討がなされておらず、術者個人の経験に依存しているのが現状です。そこで本研究では、術前 CT 画像から構築した三次元画像を用いて血管解剖学的特徴を解析し、国内外の膵臓外科専門家によるコンセンサス形成を通じて高リスク血管走行パターンを分類します。さらに、計算流体力学解析を実施し、その血行動態学的特徴を探索的に評価することで、血管解剖学的リスクの理解を深めることを目的とします。本研究により、これまで経験則に依存していた血管解剖学的リスク評価の標準化が期待されます。術前 3D 画像構築の臨床的有用性を客観的に検証するとともに、高リスク血管走行を術前に把握することで、安全な手術戦略立案や術中合併症の低減に寄与する可能性があります。
研究を行う期間	研究機関の長の研究実施許可日～2028 年 3 月 31 日
研究協力を お願いしたい方 （対象者）	2016 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日の間に京都大学医学部附属病院肝胆膵・移植外科で膵頭十二指腸切除を受けた患者さんを対象とします。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 ・ 診療情報：年齢、性別、血液型、診断名、併存疾患 ・ 治療情報：初回診断日、治療歴、治療内容、術前症状、診断方法、画像診断 ・ 血液検査：アミラーゼ、Cre、Alb、ALT、WBC、Hb、Plt ・ 手術情報：手術日、手術時間、出血量、輸血量、再建法 ・ 術後合併症
試料・情報の 提供を行う機関の名 称及びその長の氏名 （提供元について）	機関名：京都大学医学部附属病院 機関の長の氏名：高折 晃史
提供する試料・ 情報の取得の方法	診療の過程で得られた診療情報から個人を特定できる情報を削除し、CT 画像を名古屋工業大学へ提供します。
提供する試料・ 情報を用いる研究に 係る研究責任者	研究代表者：京都大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科 石井 隆道

試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	以下の機関が御提供いただいた情報を本研究に利用いたします。 【研究代表者】 京都大学 肝胆膵・移植外科 石井隆道 【共同研究機関・研究責任者】 名古屋工業大学 電気・機械工学科 中村匡徳
本研究の 利益相反	当院では運営費交付金を使用します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。当院の研究者の利益相反については、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。
利用または提供を開始する予定日	京都大学医学部附属病院長の実施許可日以降に提供を開始します。
倫理審査と許可	本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を得て実施しています。 共同研究機関である名古屋工業大学においても自機関に設置されている倫理委員会にて審査を受け、研究機関の長の許可を得て実施しています。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	1) 研究課題への問い合わせ先 京都大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科 担当者氏名：山根 佳 電話番号：(075) -751-4323 メールアドレス：hipokura3@kuhp.kyoto-u.ac.jp 2) 京都大学の苦情等の相談窓口 京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口 電話番号：(075) -751-4748 メールアドレス：ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp